

中小企業の経営支援に関する取組み方針

当行では、お客さまへの長期的・安定的な金融仲介機能、コンサルティング機能を提供することが、地域金融機関の重要な使命と考えており、ライフステージを適切に見極めた上で、創業・新規事業開拓の支援、成長段階における支援、また経営改善・事業再生支援などの、適時・最適なソリューションを提案することで、お客さまの成長を支援しております。

当行は、2019年4月からスタートさせた中期経営計画「ベスト リライアブル・バンクへの挑戦 ステップ3 四銀のあたらしいビジネスモデルを確立するために、変わる！挑戦する！」を着実に実行していくとともに、金融庁から公表された「金融機能のベンチマーク」を効果的に活用することで、今後ともお客さまの成長力強化や生産性向上につながるコンサルティング機能を発揮し、お客さまの課題解決に努めてまいります。

中小企業の経営支援に関する態勢整備の状況

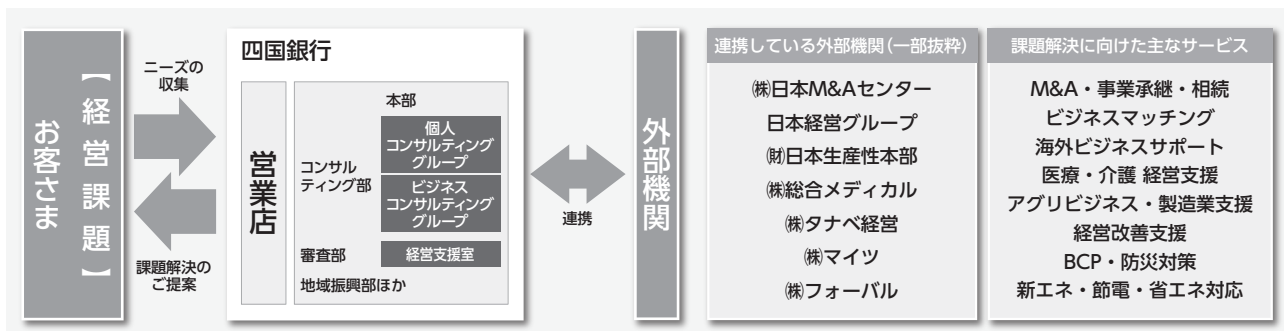
広域な店舗ネットワークを活用した情報集積と販路開拓等の経営支援

地盤である高知県を中心として、四国全域と近接の本州地域にも充実した店舗網を展開しております。その広域な店舗ネットワークと情報網を活かし、ビジネスマッチングによるお客さまの販路拡大を積極的に支援しております。また、高知県と連携し商談会に参加するなど、高知県内企業の地産外商、販路拡大を支援しております。



組織体制・外部機関との連携

営業店、本部が一体となった支援体制の構築に加え、外部機関(外部専門家)との連携強化により、お客さまの課題解決のためのサポートを実施しております。



ライフステージに応じたコンサルティング機能の発揮状況

創業・新規事業開拓の支援

■ 創業・新事業支援融資への取組み

創業等のご相談に対しては、必要に応じて政府系金融機関や信用保証協会、各地の商工会と連携し、お客さまが円滑に事業をスタートアップできるようご支援しております。

四国地域における起業・創業意識を高めるため、また独創性のあるビジネスプランを持つ起業家を発掘し、事業化に向けた支援を行うため、例年、四国アライアンス主催によるビジネスプランコンテストを開催しています。



成長・安定段階における支援

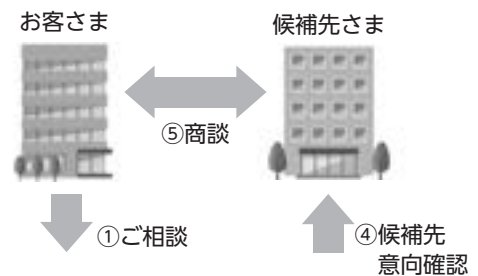
■ ビジネスマッチングの活性化～四国アライアンスビジネスマッチング～

2017年4月より「四国アライアンスビジネスマッチング」を開始しました。お客さまの販路拡大や仕入先拡充等のニーズに対し、当行のお取引先だけでなく、四国アライアンス4行のお取引先との商談機会を提供しております。

2019年9月末時点で、四国アライアンスとして累計2,992件の情報登録があり、850件の成約となっています。2019年7月には、四国アライアンスとNEXCO西日本との共催による「四国地区ハイウェイ大商談会」を高松市で開催し、サービスエリアやパーキングエリアで販売・使用のお土産品、日用品、食材等の新たな販路開拓の機会創出にも取り組みました。



<ビジネスマッチングサービスのイメージ>



四国銀行

- ②候補先探索：四国銀行内で対象先を探索
- ③候補先探索(他3行)
阿波銀行、百十四銀行、伊予銀行に探索を依頼

■ 不動産担保・個人保証に過度に依存しない融資の提供

お客さまそれぞれの事業内容や成長可能性等を適切に評価し、不動産担保や個人保証に過度に頼らない融資を積極的に推進しております。

・ABLの活用状況

ABL (Asset Based Lendingの略)とは、事業者が保有する在庫・機械設備等の「動産」や、売掛金・診療報酬等の「売掛債権」等の資産を担保として活用する融資の手法です。

ABLの活用は、担保である「動産」や「売掛債権」の情報を定期的にお客さまから提供いただき、お客さまの事業の内容やその時々々の状況をより深く理解することで、お客さまの事業発展への支援に役立っております。

・「経営者保証に関するガイドライン」の活用状況

お客さまと新規に保証契約を締結する場合や、保証契約の見直し及び保証債務の整理に当たっては、「経営者保証に関するガイドライン」を積極的に活用し、経営者保証に依存しない融資の促進を図っております。

ABL実績(2019年9月末)		
	件数	残高
動産担保	374件	22,903百万円
債権担保	123件	4,585百万円
合計	497件	27,488百万円

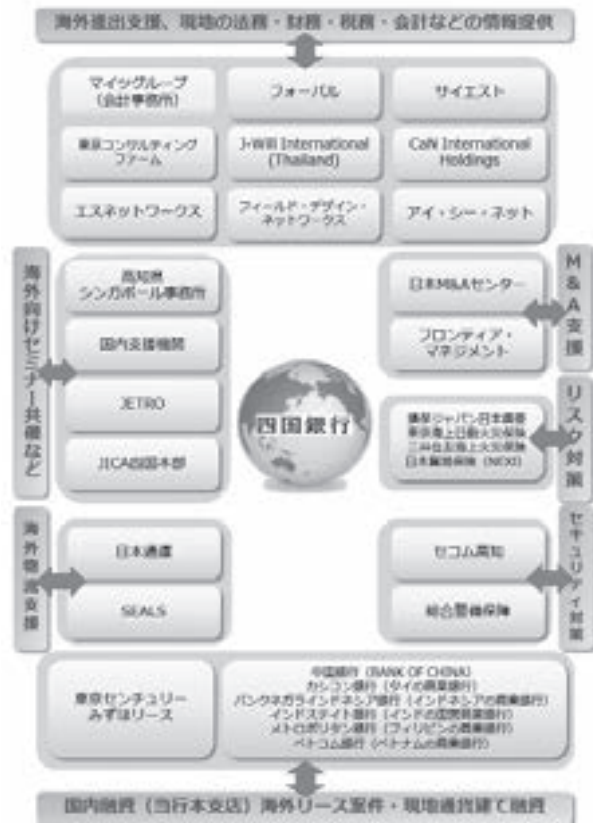
経営者保証に関するガイドラインの活用実績(2019年9月期)	
新規に無保証で融資した件数	1,013件
保証契約を解除した件数	210件
新規融資に占める経営者保証に依存しない融資の割合	17.76%

■ 海外進出支援

海外ビジネスサポートネットワークの強化

お客様の海外進出をトータルサポートするため、外部機関との提携強化を図っております。中国や東南アジアを中心に、海外現地の法務・財務・税務、海外事業展開に必要な資金調達、輸出入の手続き、販路拡大や部材調達などのご相談にお応えしております。多様化するお客様の海外ニーズにお応えできるよう外部ネットワークの構築を強化しております。

【海外ビジネスサポートネットワーク】



インドネシア ビジネスマッチングセミナー& 相談会を開催

2019年8月、四国アライアンスとフォーバル社共催で、高松及び高知会場にて「インドネシア ビジネスマッチングセミナー&相談会」を開催しました。

インドネシアに17の飲食店を展開するDAISEIグループの代表者を講師に招き、インドネシアにおける食品業界の動向や外資規制等についての講演に加え、ご参加いただいた企業さまが講師、フォーバル社と自由に情報交換していただく機会を提供しました。両会場の相談会には15社(当行からは7社)の企業さまにご参加いただき、インドネシアへの事業展開に際しての具体的な課題やハラルの重要性について再認識できたなど、参加企業の皆さまからは高い評価をいただいております。

海外進出に関する商談会やセミナーはお客様の関心も高く大きな反響をいただいております。今後も海外進出に関するイベント情報を定期的に発信することにより、お客様のニーズ発掘や最適なソリューション提供に努めてまいります。



事業承継・経営改善・事業再生等の支援

■ 経営改善・事業再生支援への取組み

経営支援・コンサルティング機能の強化のため、審査部内に設置した『経営支援室』と営業店が一体となって、お客さまの経営改善支援に積極的に取り組んでおります。

■ 事業承継支援への取組み

経営者の高齢化や後継者不在など、深刻化する中堅・中小企業の事業承継問題に対し、地域金融機関として、課題解決に向けた支援に積極的に取り組んでいます。

また、本部に設置する「事業承継・相続サポートデスク」には専門性の高いスキルを持った行員を配置するとともに、営業店にはM&Aシニアエキスパート資格(株式会社きんざい主催)の取得者131名を配置し、お客さまの課題解決に向けたサポートを行っています。

引き続き、お客さまの顧問税理士や外部提携先との連携を図りながら、お客さまの状況に合わせたきめ細かいサポートを行ってまいります。

M&A・事業承継相談の受付

お客さまの顧問税理士、弁護士、司法書士といった専門家や、M&A業務や事業承継業務の提携先等の外部機関と適宜連携し、お客さまの状況に合わせてサポートいたしました。

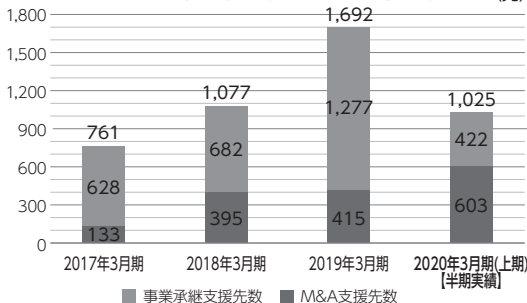
<事業承継のさまざまなニーズへのご対応例>

- 自社株評価額の試算
- 会社を後継者に円滑に承継するためのアドバイス
- 自社株の贈与・相続の提案
- 組織再編スキームに関する提案 など

<外部提携先>

辻・本郷税理士法人
東京共同会計事務所
みどり財産コンサルタンツ
税理士法人山田&パートナーズ
(株)日本M&Aセンター
フロンティア・マネジメント(株)
(株)エクステンド
ABNアドバイザーズ(株)

事業承継支援先数、M&A支援先数 (先)



■ 第6期「四銀 経営塾」開講

「四銀 経営塾」は、若手経営者、後継者および幹部候補等のお互いのネットワークづくりと経営感覚の向上を目的に毎年開講しています。

2019年度は、4月から第6期が開講し、22名の塾生が講義やグループディスカッション、企業視察、交流会等を行い、修了式には塾生による中期ビジョンやアクションプランについての発表が行われる予定です。11月には、第5期までの修了生に第6期22名を加えた修了生が合計142名となる予定です。

当行は、塾生および修了生の成長をサポートすることにより、企業の発展、地域経済の活性化につなげることを目指し、取組みを続けてまいります。

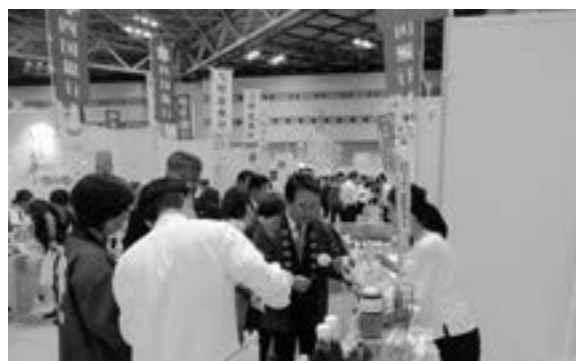


地域の活性化に関する取組み状況

■ 地方銀行フードセレクションへの参加

2019年9月、地方銀行主催の食品商談会「地方銀行フードセレクション2019」に参加し、当行ブースには13事業者が出展しました。出展された事業者さまは、全国のバイヤーとの商談が見込まれています。

当行は、お客さまの販路拡大や地産外商への支援を通じて、地域経済の活性化に取り組んでいます。



■ クラウドファンディングの活用

当行が業務提携する株式会社マクアケと連携し、「合資会社得月楼」の購入型クラウドファンディングのプロジェクトを支援しました。

本プロジェクトは、高知県の老舗料亭「得月楼」の「三種の神器」である「特製土佐醤油」、「秘伝のぼん酢」、「名物鯛だしそうめんつゆ」を多くのご家庭で味わっていただき、歴史ある当料亭にお越しいただききっかけをつくることを目的としています。

当料亭が2020年に創業150周年を迎えるにあたり、支援金は当料亭のホームページのリニューアル費などに充てられ、更なるPR効果が期待できます。

当行は今後も、クラウドファンディングの手法を活用し、地域の魅力向上や地域資源を活用した新商品・新サービスの開発に取り組む事業者の皆さまを、積極的に支援してまいります。



■ ファンドを活用した地域活性化への取組み

・「しぎん地域活性化ファンド」による投資

地域の雇用維持と観光振興を目的に、皇室がご来館されたことでも知られる老舗観光ホテル『足摺パシフィックホテル花椿』の事業承継を支援しました。

政府系金融機関と連携した資金協カスキームを構築し、2019年9月に「土佐清水リゾート合同会社」に対し、「しぎん地域活性化ファンド」を通じた投資および融資を実行したほか、地方公共団体や県内事業者とのマッチング等を行い、円滑な事業承継に向けた支援を行いました。

土佐清水リゾート合同会社は、東京や京都などで宿泊施設運営や旅館再生事業を手掛ける株式会社Catalystのグループ企業です。

当ホテルは、Catalystグループが有する宿泊施設運営ノウハウを活用し、太平洋を一望するオーシャンビューを活かしたテラスカフェなどのハード整備や、豊かな地域の食資源を追求した料理の磨き上げ、地域の観光施設との連携などを通じて、リゾートをコンセプトとしたホテル運営を目指しており、外国人観光客や若年層を中心とした「新しい客層」も取り込んでいく予定です。

当行は、今後もファンドを活用した地域産業の活性化に貢献してまいります。



■ 四国アライアンスの取組み

四国アライアンスでは、ITを活用した生産性向上に興味のある事業者を対象に「産業振興セミナー」を開催しました。セミナーでは、IT導入補助金やキャッシュレス・消費者還元事業など生産性向上に役立つ制度や事例の紹介を行いました。

また、高知県との共催で、事業者を対象としたキャッシュレスセミナーを県下6会場で開催し、キャッシュレス決済の概要や導入事例についての情報提供を行いました。

当行は今後も、事業者さまの経営支援をはじめ幅広いテーマでセミナーを開催し情報発信することで、地域経済の活性化に貢献してまいります。



■ エコノミクス甲子園の開催

「エコノミクス甲子園」高知大会は、認定NPO法人金融知力普及協会が主催する「エコノミクス甲子園」の地方大会で、高校生に「金融知力」(金融経済の仕組みを理解し、夢の実現と生活防衛のために金融を活かす力)を楽しく学んでもらうことを目的に開催しています。

2019年12月に開催した第14回大会には、高知県下の高校生15チーム30名が参加し、予選ラウンドでは金融や経済に関する筆記クイズ・早押しクイズが行われ、決勝ラウンドへ6チームが勝ち進みました。白熱した戦いを繰り広げた結果、土佐高校の「チーム土佐」が見事優勝し、2020年2月に東京で開催される全国大会への出場権を獲得しました。

当行は、本大会を通じて地域社会の将来を担う人財の育成を支援してまいります。



